

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度第 1 回茨木市スポーツ推進審議会
開催日時	平成 28 年 7 月 7 日 (木) (午前・ <u>午後</u>) 6 時 1 5 分 開会 (午前・ <u>午後</u>) 7 時 4 1 分 閉会
開催場所	茨木市役所南館 8 階 中会議室
議 長	松井委員 (会長)
出席者	松井委員、三浦委員、高橋委員、小林委員、長田委員、松元委員、 桂 委員、羽東委員、長尾委員、阪本委員、奥野委員 【 1 1 人】
欠席者	西村委員、西田委員 【 2 人】
事務局職員	田川市民文化部長、牧原スポーツ推進課長、 勝山施設管理係長、小西推進係長 【 4 人】
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / 非公開
議題(報告事項・案件)	1 茨木市スポーツ推進計画について 2 補助金関係 3 その他
配布資料	<p>案件 1 関係</p> <p>(1)茨木市スポーツ推進計画実施状況・・・・・・・・・・ 1～23 (2)スポーツ施設利用状況 (平成 25～27 年度) ・・ 24～27 (3)スポーツ教室参加状況 (平成 25～27 年度) ・・ 28 (4)スポーツ大会参加状況 (平成 26～27 年度) ・・ 29～31</p> <p>案件 2 関係</p> <p>(1)茨木市スポーツ大会関係事業補助金 ・・・・・・・・ 32～34 (2)茨木市体育協会事業補助金 ・・・・・・・・ 35～36 (3)提案公募型少年少女スポーツ大会事業・・・・・・・・ 37～40</p> <p>別紙資料</p> <p>(1)第39回三島地区総合体育大会結果表 (2)第69回大阪府総合体育大会結果表</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>みなさん、こんばんは。 定刻となりましたので、平成 28 年度第 1 回茨木市スポーツ推進審議会を開会いたします。</p> <p>始めに、当審議会の会議の開催につきましてご説明いたします。昨年度は計画の策定に係る審議をお願いしました関係で、6 回開催していただきましたが、今年度につきましては、今回のみの予定としておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、田川正文市民文化部長からごあいさつを申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">(田川部長 あいさつ)</p>
事務局	それでは、松井会長、議事進行よろしくお願いいたします。
松井会長	これより平成28年度第1回茨木市スポーツ推進審議会を開会いたします。まず、委員の出席状況を報告願います。
事務局	本日、ご出席の委員は11人、ご欠席は2人で、全委員の過半数がご出席ですので、「茨木市スポーツ推進審議会条例」第6条第2項の規定により、会議は成立しております。
松井会長	次に、審議会の公開について確認しておきたいと思います。先に事務局の説明をお願いします。
事務局	<p>審議会の公開等につきましては、昨年度、第1回の審議会におきまして、公開と決定いただいております。</p> <p>また、会議録は、発言者のお名前を記載して本市ホームページ等で公表しております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
松井会長	<p>ただ今、事務局から審議会の公開について説明がありました。今後、非公開とすることが適当と考えられる案件が発生したときには、その都度、当審議会で諮って決定することとし、前年度と同様に会議は公開することとしたいと思います。</p> <p>本日、傍聴人がおられるようでしたら、入ってもらうようにしてください。</p> <p>それでは、議案の審議に入りたいと思います。</p> <p>まず、昨年、委員の皆さまにご審議いただきました「茨木市スポーツ推進計画」について「実施状況」「スポーツ施設利用状況」「スポーツ教室参加状況」「スポーツ大会参加状況」を事務局から説明をお願いします。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	(資料に基づき、説明)
松井会長	<p>ありがとうございました。ただいまスポーツ推進計画の実施状況と実施予定も含めてご説明がありました。その他といたしまして、スポーツ施設の利用状況とスポーツ大会の参加状況、実施状況のご説明もありましたが、ご意見、ご質問がありましたらお受けいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>茨木市のホームページが非常に見にくい。特に一般の方がスポーツ関係の情報をどこから探したらいいのか分かりにくくなっている。体育協会や総合型地域スポーツクラブ等の情報をすぐに見つけられるようにした方が、みんなに分かりやすくなり、教室の周知等がしやすいのではないかと。実施計画内にもホームページのことが書いてあるように、出来たらワンクリックで情報が見つけられるように、利用しやすい形でお願いしたい。</p> <p>それと私は地域で放課後子ども教室に参加しているのですが、他の地域の放課後子ども教室の状況が知りたい。自分たちがやっていることがベターなのか、他にどんなことをやっておられるのか知りたい。スポーツ推進課や青少年課が音頭を取って交流会、情報交換会を是非開いていただきたい。</p> <p>また、情報交換の場として、放課後子ども教室の他にも、例えば高齢者の行事等に関しても、スポーツ推進委員として何かあればお手伝いしたいと思いますが、老人クラブのほうでは、体力テストやニュースポーツの大会などもやっていらっしゃるけれども、スポーツ推進委員の中では誰も知っている人はいないと思います。やはりこれから、そういう活動にわれわれも使っていただいて、高齢者とのつながりを作ることによって、情報の共有もしたい。この間、私失敗したことがあるのですが、福祉関係でいきいきサロンの食事会があって、その後スポーツをしようかということになりまして、ディスコンをやったんですね。その最中に中腰になってディスクを投げるときに、バランスを崩して、お尻からポトンと床について、骨折してしまうことがありました。それを経験して、動くコマのついた椅子とかを用意したり、そばに付いて行って補助してあげるであったり、そういうことを経験したことで気がついたということもありますし、そういうことから高齢者関係団体や社会福祉協議会との情報交換や交流会というのも、我々としても協力していきたいと思っていますし、スポーツ推進課のほうでも、そういう方向で対応していただければ、ありがたいなと思っています。以上です。</p>
松井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>では今ご意見いただいた件について、何点かあるかと思いますが、市の方で補足説明等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>ホームページの件に関するご指摘につきまして、おっしゃる通りだと思っています。例えばイベント等につきましても、日付順に並んだものし</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>かご用意させていただいておりませんので、興味のあるところから入っていけるような、という発想が必要かなと思いますので、そのへんも検討して、見やすいホームページを考えてまいります。</p> <p>それから、各地域でどういった活動がされているのか、という流れが見えにくいというお話がありました。例えば放課後子ども教室とか高齢者の関わりとか、色々な分野に分かれるかと思えます。それを一度に情報を得られるような交流会というのは、なかなか難しいと思えますが、スポーツ推進課がコーディネーターにならないといけないかなと思いますので、またご意見をいただきながら、そういった場を作れるようにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の件は、府レベルで推進会議みたいな、そういうつながりはないのでしょうか。府全体で各市町のこういうスポーツ推進審議会のような。</p>
桂委員	<p>各市のスポーツ推進委員さんが出席する府のスポーツ推進委員会がありますよね。</p>
小林委員	<p>それはあります。4市1町の三島の集まりもありますが、市内でのつながりが欲しい。</p>
松井会長	<p>それからもう一点、高齢者の方の体力測定の話が出ましたが、その件について阪本委員から何かありませんか。</p>
阪本委員	<p>今、体力測定の件が出ましたけれども、高齢者の体力測定は、老人クラブ連合会が主管しております。当然我々のなかでも高齢者リーダー養成研修事業の中で、体力測定が出来るスタッフも全部確保しているのが現状で、それを去年から4つの体育館で開催しております。また市老連でやっています体力測定に関しましては、全老連が主催しております、いわゆる健康寿命を延ばそうという一つの関連でございまして、年に一度府の中での研修会にリーダーは必ず参加して、研鑽して、かつ、また新しい人材を養成しているのが現状で、今年はスポーツ推進課のほうから、事前に体育館をおさえさせていただいて、5月の市老連の大会の中で、すべて日程を落とし込むことが出来ていますので、その中でどうしていくかということを考えております。実は市老連のほうでは、その体力測定の結果を全てパソコンに落とし込んで、福井市民体育館でやった人でも、南市民体育館に行ってくださいね、東も市民体育館も行ってくださいね、とあって、4つの市民体育館を巡っていただいて、自分の体力がどのくらい変化していているのかということが分かるようにしております。今年からいろんなことを模索していきたいと考えて実施しているのが、現状でございます。</p>
松井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松元委員	<p>何点か質問と意見があります。</p> <p>まず一点目が、体育施設の適切な維持管理というところで、学校の体育施設のことが書かれているのですが、先日も東大阪の中学校の部活動の最中の事件の判決が出たということで、茨木市内の体育館を見てみると、冷房を設置しているところがない。そのあたりの長期的な計画があれば教えていただきたい。</p> <p>それともう一点目が、トップアスリートの交流というところで、この中でボールゲームフェスタをやっていただけるということですが、各種目の団体が独自にトップアスリートを招聘して、いろんなクリニックをやっているケースもあります。昨年度実はバスケットボールでは、現役時代はアジア選手権等でご活躍された古海選手という女性の選手を紹介してクリニックをしたのですが、もしこういうことも載せられたら、市民もそれを見ることで、スポーツ推進課も頑張っていると思ってもらえるんじゃないかと思いました。これが2点目です。</p> <p>3点目が、スポーツレクリエーションのところの春日小学校区の補助金が出ていないですね。これは多分地域コミュニティのある地域は出ていないと思います。このあたり郡もそうなんですけれども、春日とかどういった形で補助金が出るのか教えていただきたい。この3点、お願いします。</p>
事務局	<p>体育館の空調の件でございますが、一番大きいスペースをとっています、いわゆるアリーナと呼ばれるところにつきましては、4つの市民体育館には整備はしておりません。また今のところ、どこかの段階で整備するという考えもありません。それ以外の多目的室ですとか会議室、先ほどご紹介させていただきました、小川町の市民体育館で昨年度第4体育室、今年度はこれからですが、第3体育室に、空調を設置させていただきます。</p> <p>それからトップアスリートを招聘して、スポーツのイベントということで、今後体育協会等にも照会させていただいて、そのような取り組みがありましたら、我々も情報としては知っておきたいので、そういった活動もまた報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>それと、地区スポーツレクリエーション大会の補助金については、案件2の方になっておりますので、後ほどお願いいたします。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、三浦委員お願いします。</p>
三浦委員	<p>今の説明の中で、ヨガをしている人の人数が大変多いということで、28ページのスポーツ教室参加状況というところで見ましたら、やっぱり市民体育館のパワーヨガ、南市民体育館のヨガと西河原市民プールのヨガっていうのは、人数が3桁で推移していますが、例えば市民体育館の26年度実施のリズム体操とか、それから南市民体育館の健康体操、ソフトエアロビクスっていうのに、横棒が引いてあるのは開かれなかったのか、人数が集まらなかったのか、それとそのヨガに関して、ここだけが突出しているのは、やはり指導者がいいのか、時代の推移なのか、その辺で、男</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>女の比とか分かりますでしょうか。 いかがでしょうか。 確かにパワーヨガはすごいですね。何か要因があるのでしょうか。ただ単に流行なのか。</p>
事務局	<p>表の中で、ハイフンで表示しているところですが、それぞれその直前の数字を見ていただいたら分かるかと思いますが、参加者が少ないということで、そういう教室を廃止して、例えばヨガの教室を増設するなどして、見直しを行っております。やはり希望者が多く、抽選等で参加頂けないケースもありますので、参加者の少ない教室をやめて、人気のある教室を増やしたりしております。</p>
松井会長	<p>そうするとここには出てきていませんが、回数が人数に対応して増えていると考えてもよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうです。また、男女比率ですが、女性が圧倒的には多いのですが、最近、男性の方の参加も見受けられます。</p>
松井会長	<p>その他ございませんでしょうか。</p>
桂委員	<p>先ほど、小林委員からも放課後子ども教室の話がありましたけれども、日本体育協会も5、6年前からアクティブチャイルドプログラムというのを出していて、去年は府立体育館のほうで、無料で講習会をやっていました。スポーツ少年団にはずいぶんアナウンスがいて参加されていました。茨木市内でもスポーツ少年団の子どもたちは、休みの土曜日や日曜日といえば野球の格好して、みんな元気なんですよね。野球であったり、柔道とか剣道とかバレーボールとかバスケットボールとかしていらっしゃる方は元気なのでいいのですが、このプログラムは、おそらくそうじゃない人たちのために、幼稚園児とか、小学生とかに、こんな遊びをして体力つきますよ、というすごくいいプログラムなんです。DVDも出てますので、大阪体育協会は、予算化をして欲しいと言っているんですが、府の小学校の体育研究の担当のところ、おそらく案内が行くと思うのですが、各学校でそれを使っただけでもそうですし、DVD見てもらったり、そのプログラムをみてもらって、放課後子ども教室等で、例えばソフトボールをしていらっしゃる男性とか、少し見たら誰でも出来るようになるので、そういうものを活用されて、総合型地域スポーツクラブとかに活用すれば体力アップに楽しんでゲームが出来るので、DVDを入手して、それを活用されてはいかがかと思っております。</p> <p>それからニュースポーツという言葉が出てきているのですが、ペタンクとかニュースポーツの種目というのは、どういうふうに捉えていらっしゃるのかなと思いました。ディスコンはニュースポーツの種目です。ディスコンと書いてあって、ニュースポーツと書いてあるから、どういうスポーツをニュースポーツとおっしゃっているのかなと、読んでみると明確で</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>ないという気がしました。またご検討ください。</p> <p>ただいまの意見につきまして、事務局のほうで何かありませんか。運動していない子に対するという点で、何かということですよ。</p>
桂委員	<p>そうですね。そういったプログラムはたくさん出ているんですね。それを使われたら、いかがかなと思います。茨木では茨木っ子運動とかもありますよね。日本体育協会が文部科学省からの委託でされて、6年くらい前から、早稲田、慶応、東海、日体、中部くらいですかね、いろんな大学の関係機関、そして日本体育協会の伊藤さんというお医者さんと、早稲田の人間科学部の竹中教授と。この方、確か茨木市の東中学校出身で、この間、茨木に無料で講演に来てくださいねという話もさせていただきましたが、非常に生涯スポーツの推進のために、日本中あちこち回って、いろいろなことをされているのですが、このアクティブチャイルドプログラムにも委員として、参加されていまして。また東京のほうだけで使われているだけでなく、香川県のどちらかの市で使われていまして、ずいぶん子どもたちの体力がアップしたという紹介があったりしていますので、是非そういう紹介をしていただけたらと思っております。</p>
松井会長	<p>色々と調査・準備等が必要かと思っておりますので、今年度すぐにとということでもいかと思っておりますが、そういうプログラムというものを認識しながら、是非ご検討いただければと思っております。</p> <p>それでは、その他ございませんか。</p>
高橋委員	<p>先ほどの説明ありがとうございました。障害のある人のスポーツのところで、情報提供といいますか、指導者の育成ということも含めて、障害者スポーツの講習会というのが今年の予定として書かれていますよね。ここにありますように、府障がい者スポーツ協会の事業、活用についての検討のところで、11月に中級の障害者スポーツ指導員の講習会を、ファインプラザ大阪というところでやられます。これは日体協の資格をもっておられる方が、受けられます。市民対象では、初級から受けなければならないのですが、初級、中級、上級とあるんですけれども、初級を取って2年したら中級が受けられるようになります。日体協の資格を持っておられるかたに関しては、中級から受けるという優遇措置があります。ご興味のある方は是非受けていただければと思っております。茨木市も、もし障害者のスポーツの推進をしていただければ、スポーツ推進委員の方を対象にそういう初級講習会をされたらいかがかなと思っております。これは18時間で指導員の資格を取れますので、早くやれば2日間、だいたい3、4日間で堺市または大阪市でやっておられます。最近、東京オリンピックをにらんで、指導者の方で興味持っておられる方が多くて、この7月に大阪でやっている講習会で、40人定員に120人の申込がありました。3倍くらいの競争率で抽選となりました。日本障害者スポーツ協会というところの認定制度なのですが、一応日本障害者スポーツ協会が2013年にビ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ジョンを出してしまして、2020年までには、3万人規模の指導者を育てようとしています。今2万2千人くらいなんです。それで推移していますが、そのうち中級の指導員は、本当に少なくても2千人くらいなんですよ。是非中級あたりを増やされたらいいのではないかなと思います。</p> <p>それと、これも情報提供ですが、毎年2月に大阪カップという車椅子のバスケットボール大会を開催しておられます。茨木市であれば、太田中学校なんか観戦に来たりしているんですけども、中学生あたりが、障害者のスポーツ、特に国際大会、トップアスリートの大会を見ることによって、障害者への可能性、また障害者の雇用なんかも含めて学校と連携していただい見られてもいかがかなと思います。一応観戦は無料ですが、交通費は支払わなければいけないので、みなさんバス等で来られたりします。大阪府の中央体育館でやりますので、そういったことも情報として。中学生くらいでしたら、いい教育に繋がっていく障害者のスポーツではないかなと思います。</p> <p>あともう一つ、ボッチャと書かれていますのですが、スポーツ推進委員さんが指導できるように、スポーツ推進員協議会の中で、ボッチャの講習会が是非実現できたらなと思います。ボッチャはパラリンピックの競技種目なんですけれども、パラリンピックのなかで、一番障害の重い人たちの競技種目なんです。脳性小児マヒ、筋ジストロフィーと呼ばれるような、手足も不自由のような四肢麻痺の人たちの競技ですが、ただこれは障害のない人と一緒に出来るという共生社会いわゆるインクルーシブなスポーツなんで、是非茨木市なんかでこういう講習会をやっていただければと思います。たまたま、日本ボッチャ協会の事務局が大阪府立大学の学校内にあるんですよ。だから大阪に事務局もあるし、そこの理事長も大阪府立大学の先生ですし、そんなことも含めて講習会をお願いすれば、当然講師に来てくれると思いますので、そういうことやられたらいかがかなと。以前は障害者のためのスポーツでしたけれども、やはり最近の考え方では、障害のある人もない人も一緒に楽しめるっていうのが、基本的な考え方であって、風船バレーボールなんかもすごく適切なスポーツなんじゃないかなと思います。今年度難しくても、来年度に向けて、障害のある人ない人が一緒に楽しめるスポーツの講習会をやられたらいかがかなと。その中で、障害への理解にもつながりますし、それが高齢者のスポーツのヒントにもなる場合もあるかもしれないですし、子どものスポーツのヒントにもなる場合もあるし、また逆もあると思います。高齢者、障害者のスポーツの推進も含めてやっていただけたらなと思います。</p>
事務局	<p>指導者の育成に関しましては、教えていただきましたことを参考にスポーツ推進委員協議会のみなさんと進めていきたいと考えております。</p>
高橋委員	<p>資格を取らなくても、講習会をやられることはいいことですし、障害者のスポーツですが、指導者の資質の向上にもつながると思うので、大事なことだと思います。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>ありがとうございます。あとボッチャにつきましては、松井会長とご相談をさせていただいております。一度指導いただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。</p>
松井会長	<p>今、大学の近辺の自治会長さんと昨年から働きかけて、去年30人くらいで、今年はまだ増える予定ですが、20人程度の参加をいただいております。エリアとしましては、福井の方が新しく加わって、徐々に広げて、大学にご参集いただいて、月に2回ボッチャを楽しんでいただいているところでもあります。これを全市民に広げていきたいなと私共の希望では思っておりますので、是非市と一緒にタッグを組んで、ボッチャの普及をはかっていきたいと思っております。</p> <p>では、他にございませんでしょうか。</p> <p>あと三浦委員、大学のところでのご意見いかがでしょうか。</p>
三浦委員	<p>私たち大学のほうでは、彩都西の放課後こども教室のほうで、チアリーディングの指導を、だいたい前期2回、後期2回くらいで、学生が小学生に教えています。2回ずつ教えながら、その日のうちに1つの演技を作りあげて、いくつかのグループに分けて、見てもらうという感じのものを、ずっと継続して今やっております。</p> <p>他は、うちの学校ではキンボールがさかんなんですけれども、どこかでやっていると思うんですけれども、なかなか普及しているというような感じがしていない気がします。</p>
松井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと調査をいくつか計画をしておられますが、例えば22ページのスポーツボランティア制度についてですとか、その上のスポーツ指導者制度について調査するというふうに記載されておりますが、具体的に何かアンケートを取るのでしょうか。</p>
事務局	<p>他の自治体で、実施しておられるような参考になるようなものを今、探している段階です。ホームページ等を利用しまして。</p>
松井会長	<p>情報収集・研究ということですか。</p>
事務局	<p>はい。どのような制度がいいのか、事例を探しているところです。</p>
松井会長	<p>分かりました。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。</p> <p>唯一の施設関係であった、18ページの福井運動広場のトイレについて、これは実現するという事なんですかね。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、以前グラウンドにトイレがあったんですが、国体でソフトボールの試合会場になった際に、手狭だったことが原因で撤去</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	<p>しました。その後福井市民体育館が建ちまして、その中にトイレがあるということで、そのままの状態になっておりまして、利用者の方々からは不便だということで、多々要望をいただいておりますので、体育館の中に入らずに、ご利用いただけるトイレを設置したいということで、検討しております。実現に関しましては、予算の関係もございますので、今のところは未定です。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。 なければ、次の案件に入らせていただきます。 それでは、案件の2点目「補助金関係」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
松井会長	<p>ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見ご質問がございましたら、お受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>ちなみにこの助成金をいただいた関係で、その部分が今回の推進プログラムに組み込まれたりはしているのでしょうか。特にそれとの連携はあまりないのでしょうか。</p>
事務局	<p>一番始めに説明させていただきました、地区スポーツレクリエーション大会の補助金がございますが、こちらを実施していただく要領の中で、プログラムとして、親子で参加できるような種目を設けていただきたいということで、お願いさせていただいております。これは計画の中でも、親子で参加できるようなということを謳っておりまして、それを地区体育祭の中でも実施していただきたいという考え方で入れさせていただいております。</p>
松井会長	<p>公募型については、特に連携はないのですか。</p>
事務局	<p>この補助制度は、平成26年度から実施しておりますが、こういう少年少女スポーツ大会というテーマを設けたのが、子どもたちの体力の向上ですとか、スポーツに親しんでいただくために、市民団体が大会を実施されることに対して、市が助成しようという考え方で設けたものなので、やはり、子どものスポーツを盛んにしていきたいという考え方で設けたものであります。</p>
松井会長	<p>これは平成28年度分の紹介ということですので、このメンバーの中で、平成29年度に向けて、何か申請をするという提案ということではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成26年度から実施していますが、交付されている団体は、毎年1団体ということで、応募がないということでもありますので、担当課として</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
松井会長	は、せっかくの補助金ですので、活用していただきたいと思っております。 ということですので、みなさん是非公募型に応募していただいて。
松元委員	勉強不足で、こういうものがあるということを知りませんでした。 そして、これがどのように使えるのかというのを、ずっと読みこんでいるのですが、1事業2分の1の補助ということ、1事業をどのような形で使われているのか、ということ具体的に教えていただきたい。
事務局	募集要領の「対象となる経費」というところにあげさせていただいておりますが、実例としましては、審判謝礼ですとか会場の使用料とか、あとは事務的な募集とかに関して必要な通信運搬費ですとか、そういった経費に使われていることが多いです。
松元委員	今1事業やられているのは、どんな事業なんですか。
事務局	少年野球大会です。
松元委員	ありがとうございます。
奥野委員	地区スポーツレクリエーション大会の補助金なんですけれども、これは地区でやっている体育祭のことなんですかね。 また人口を見させていただきましたところ、合計で23万6255人なんですよね。ただ、春日等の4つの地区は省かれていると、別の補助金だと言われていましたが、それを入れると今茨木市の人口が28万くらいですが、その数になるんですか。また人口割りは単に人口に20円かけているのか、参加者の数等には関係があるのですか。 そして、足して相当な金額になりますが、各地区は全て使い切っているのでしょうか。また使い切っていないとき返還させるとか、そういうのはあるんですか。実際どのような形で支給されているのかと思ひまして。具体的に教えて下さい。
事務局	この人口につきましては、参加者ではなく実際に居住されている校区の人口です。
奥野委員	そしたら参加者が少なくて、規模の小さい事業をやってしましても、交付金が多いということですね。
事務局	人口に基づいて算出させていただいております。
小林委員	実際にやっている立場の者から言いますと、ここに書かれている金額では、到底、地区体育祭は運営できません。私の地区の場合は、この補助金だけで運営しているので、例えば参加者へは百均のボールペン1本くらい

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	の参加賞を渡すくらいです。豊かな公民館であれば、自分のところのお金で、賞品等を出しているみたいですが、スタッフのお弁当代や参加賞等でなくなってしまうのが現状です。
奥野委員	お弁当代と参加賞だけで。
小林委員	そうですね。
奥野委員	ですが、地区の方全員が参加されている訳ではないですよ。
小林委員	それはもちろんです。それでも100円のもので、1000人来たら、10万円くらいになります。
奥野委員	各自治会でもお弁当代等を出していると思いますが。
小林委員	そうですが、運営スタッフのお弁当代は出ませんよね。
奥野委員	そしたら返還されるようなケースはないんですね。
小林委員	それはないですね。
事務局	概算払いとして、この金額を交付させていただいておりますが、これに満たない事例は若干あります。その場合は精算をして、返金させていただいております。
松井会長	他にご意見ございませんでしょうか。
阪本委員	今後のことなんですが、今市のほうで進められている地域コミュニティが進めば、32ページのスポーツレクリエーション大会の補助金はいずれ、市が推進する地域コミュニティに入ってくるので、こちらの方からの支出はないという考え方ですよ。
事務局	今、市民協働推進課から、交付させていただいております金額の算出は同じ考え方で、人口と均等割ですので、制度が変わっても、別に損も得もないと言いますか、同じ条件で交付をさせていただいております、その補助金の担当課が変わるといいう考え方です。
阪本委員	例えば、茨木地区を取りますと、46万6千円というのが、レクリエーション大会の補助金額ですが、例えば地域コミュニティになると、その中でそれは自由に使えるというか、そのベースに合わせなくてもいいということなんですか。
事務局	はい。この地区体育祭の補助金と、ふるさと祭りと文化展の補助金を一

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
阪本委員	<p>括で交付させていただいておまして、その配分といいますか、どの事業にいくら振り分けるかというのを、地区で決めていただくということになっております。</p> <p>そのお金に関しては、例えば予算どおりに執行しない場合は、返金という形になるのですか。</p> <p>今、この大会事業補助金は執行しなければ、返金という形ですよね。</p>
事務局	<p>先ほど申しあげました3つの事業に対して、執行がなかった場合に関しては返金をいただくということになっております。</p>
松井会長	<p>その他ございませんでしょうか。</p> <p>なければ、次の案件に入らせていただきます。</p> <p>次に、案件の3「その他」といたしまして、委員の皆さま、何かございませんでしょうか。</p> <p>次に、事務局の方から何かありましたら、お願いします。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
松井会長	<p>それでは、本日の案件は以上です。</p> <p>これをもちまして、第1回茨木市スポーツ推進審議会は閉会とさせていただきます。議事進行にあたりまして皆様のご協力ありがとうございました。</p>

